

えだまめ
SOY BEAN



黒豆の早生枝豆 芳香と甘さがあり食味最高

たんくろろ



えだまめ
梅豆
黒豆
えだまめ

たんくろう えだまめ

SOY BEAN

黒豆の早生えだまめで、芳香と甘さがあり食味最高

- 枝豆用の早生黒豆品種で、収穫までの日数は適期播種で80～85日です。
- 着莢の極めて多い茶毛大莢種で3粒莢率が特に高いです。
- 黒豆特有の芳香と甘みがあり、食味は最高です。
- 草丈は50～60cm程度です。草姿は小さめで分枝数も比較的多いタイプです。

◆栽培のポイント◆

1 圃場

土質はあまり選びませんが、やや粘土質で重い土壌が適します。やや多湿条件での生育がよく、乾燥しすぎる圃場は好みません。しかし、多湿すぎるのも禁物で降雨時の排水も考慮して圃場を選びます。PHは6.0内外がよろしい。

2 施肥

施肥は10a当たり元肥として窒素6～7kg・リン酸15kg・カリ12kg・苦土石灰100kgを基準とし早い作型で多めに、遅い作型では少なめに施します。追肥は窒素3kg・カリ3kgを目安に開花初期中耕をかねて行い初生葉節まで十分に土寄せします。マルチ栽培では全量元肥とし10a当たり窒素8～10kg・リン酸15kg・カリ12kg・苦土石灰100kgを目安とします。

3 播種

【育苗】

ハウス半促成・トンネル早熟栽培では初期生育を早めたり生育を揃えるために育苗を行います。播種が3月上～中旬まではハウストンネルでの温床育苗としますが、3月下旬頃になればハウス内冷床育苗でよろしい。播種後14～21日の本葉展開前が定植適期です。枝豆は本葉移植に向かない作物なので適期を逃がさず早めの定植を心がけます。地床育苗では3.3m²当たり1.2～1.5ℓを用い4～5cm間隔に均一に播種します。覆土は1cm位とし、十分に灌水します。(箱育苗も同様です)。ポット育苗は手間と資材が必要ですが根を傷めにくいので都合がよいでしょう。レタス・ビート用のペーパーポットやポリポットを用います。乾燥しやすいので灌水には気を配ります。反当播種量は4～5ℓを目安とします。

【直播】

株当たり2～3粒播種し露地では播種後の灌水は行いません。播種時に鎮圧すると発芽がよくなります。出芽後初生葉展開時に1～2本に間引き、欠株には別に仕立てておいた株を補植します。反当播種量は8～10ℓを目安とします。

4 畦立て及び定植

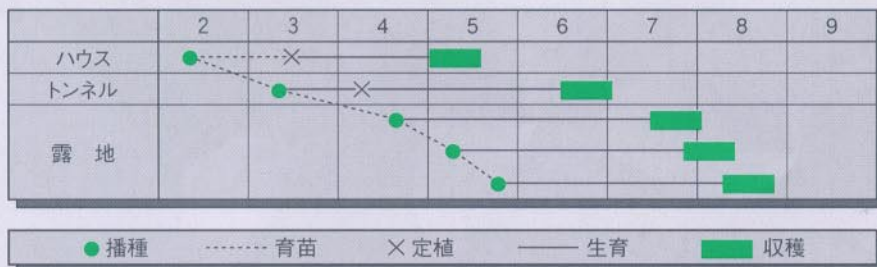
栽培様式は畦幅135～150cm、株間15～20cmの2条植が標準です。定植は秀品率を上げるため、一株一本植がよろしい。排水の悪い圃場では高畦とします。早い作型ではポリマルチやトンネルを早めに行い地温を十分に上げておきます。地温は10℃以上を確保し、定植は晴天日の午前中に行います。平均気温が15～16℃になったらトンネルを除去します。

5 病虫害防除

枝豆は虫害の多い作物なので開花期以降は定期的(7～10日)に殺虫剤を散布します。発生しやすい害虫:カメムシ類、コガネムシ類、マメシクイガ、ダイズサヤタマバエ、タネバエ。

6 収穫

莢の大部分が充実し、遅く開花したものがわずかに未熟な状態で、莢が鮮緑色の時期が収穫適期です。しかし、本種はさらに成熟が進んで莢が薄黄色に熟し子実が少し黒みを帯びた頃に収穫すると、黒豆特有の風味が増し格別の味わいが楽しめます。ただし、気温が上昇してくると過熟になりやすく、風味・食味が低下するので注意して下さい。高温期の適熟期間は3日程度です。



丸種株式会社

元気な種、すくすくと。

本社/〒600-8691 京都市下京区七条通り新町西入ル TEL 075-371-5101(代) FAX 075-371-5108
e-mail:marutane@ma.kcom.ne.jp

研究農場/〒520-3242 滋賀県甲賀郡甲西町菩提寺 TEL 0748-74-1606 FAX 0748-74-0261